

施策マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中に記入)

|             |         |           |     |                    |     |       |     |      |
|-------------|---------|-----------|-----|--------------------|-----|-------|-----|------|
| 長期振興計画の位置づけ | まちづくり分野 | しごと分野     | 担当課 |                    |     | 経済観光課 |     |      |
|             | 政策分野    | 雇用・産業連携   | 課長名 |                    |     | 岩下 栄一 |     |      |
|             | 施策      | 11 商工業の振興 |     | 重点施策の該当            | H29 | —     | H30 | 重点施策 |
| 施策の目的       | 対象      | 商工業者      | 意図  | 所得を増やす<br>経営力を向上する |     |       |     |      |

施策の目標指標

| 目標指標(単位)                          | 長振策定時    | 指標の推移(下段の( )書きは当初見込み値) |           |                    |                    |           | 最終目標値 |
|-----------------------------------|----------|------------------------|-----------|--------------------|--------------------|-----------|-------|
|                                   | 平成28年度実績 | 平成29年度実績               | 平成30年度目標値 | 2019年度目標値          | 2020年度目標値          | 2021年度目標値 |       |
| 事業者の好景気感(%)<br>(現状維持+良くなったと答えた割合) | 38.0     | 46.0<br>(42.0)         | 46.0      | 48.0<br>(51.0)     | 50.0<br>(51.0)     | 51.0      |       |
| 第二次産業と第三次産業の市町村内総生産額(百万円)         | 40,662   | 40,501<br>(40,801)     | 40,842    | 40,883<br>(40,965) | 40,924<br>(40,965) | 40,965    |       |

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

| 平成29年度実績 |        | 平成30年度実績 |        | 2019年度実績 |        | 2020年度実績 |        | 2021年度実績 |        |
|----------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|
| 重要度(%)   | 満足度(%) |
| 84.5     | 16.8   |          |        |          |        |          |        |          |        |
| 重要度DI    | 満足度DI  |
| 82.4     | -18.3  |          |        |          |        |          |        |          |        |

施策推進のための取組の成果を測る指標

| 基本事業名       | 関連戦略No.     | 成果指標(単位)                    | 長振策定時  | 指標の推移(下段の( )書きは当初見込み値) |         |                |                |           | 最終目標値 |
|-------------|-------------|-----------------------------|--------|------------------------|---------|----------------|----------------|-----------|-------|
|             |             |                             | 28年度実績 | 29年度実績                 | 30年度目標値 | 2019年度目標値      | 2020年度目標値      | 2021年度目標値 |       |
| 港町(商店街)の活性化 | 5-9         | 事業者の好景気感(%)                 | 38.0   | 46.0<br>(42.0)         | 46.0    | 48.0<br>(51.0) | 50.0<br>(51.0) | 51.0      |       |
| 港町(商店街)の活性化 | 11-27       | 商店街の空き店舗率(%)                | 14.0   | 16.4<br>(14.0)         | 13.5    | 13.3<br>(13.5) | 13.1<br>(13.0) | 13.0      |       |
| 企業支援        | 2-4<br>6-14 | 企業活動支援数(件)                  | 3      | 5<br>(5)               | 5       | 4<br>(5)       | 4<br>(5)       | 3<br>(5)  |       |
| 地場産品の振興     | 1-2<br>2-3  | 工業生産額(製造品出荷額(飲料・食料))(百万円)   | 2,092  | 1,702<br>(2,113)       | 2,134   | 2,155          | 2,176          | 2,197     |       |
| 地場産品の振興     | 2-4<br>3-6  | 工業生産額(製造品出荷額(飲料・食料以外))(百万円) | 1,280  | 1,047<br>(1,280)       | 1,280   | 1,280          | 1,280          | 1,280     |       |

②-1 振り返り(Check)

| 施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応  |  |
|---|--|
| <p>日本経済は、緩やかに回復基調にあるものの、本市においては大規模店舗の進出や少子高齢化、人口減少による商圏人口の減少により域内経済は、依然として厳しい状況にある。一方、雇用情勢は改善傾向が続いており、熊毛地区管内の有効求人倍率は平成28年度の平均で1.02%であったものが、平成29年度平均は1.19%となっている。今後の景気推移に対する見通しとしては、50%(前年55%)の事業者が非常に悪くなる・悪くなると見込んでおり、資金繰りは42%(前年48%)が厳しいと回答している。今後も商工会、金融機関とも連携をとりながら、事業所の運営に必要な資金のセーフティネット保証制度等の利用促進や振興策に取り組むこととする。</p> |  |
| 施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題  |  |
| 成果  | <p>商工業者への経営安定化策、経済対策としては、商工業振興資金利子補給補助金[申請数26件に補助(交付決定通知額:1,708,500円)]やプレミアム付き商品券の発行[プレミアム率10%、利用店舗数196店舗、総額46,200,000円]により、昨年同様の取り組みを行った。一方、新たに市商店街振興協同組合に「商店街活性化委員会」を設置し、商店街景観統制事業として、美観向上や歴史、文化を生かした街並みの検討や訪日外国人を想定したマップやタペストリーを作成した。商店街魅力創出事業では、アニメの展示会やラッピングバスによるツアーを開催する等、ゲームやアニメを活用した取組を行い、中心市街地の活性化に取り組んだ。</p> |
| 現状・課題   | <p>商工業の振興において、特に中心市街地である商店街の活性化を重点的に取り組んでいる。空き店舗等対策では、国の地方創生推進交付金を活用し、旧あきたや跡に「商店街まちかどインフォメーションセンター」を開設。観光客や市民が様々な情報を得、交流する場を作るとともに、SNSや情報誌による様々な情報発信に努めた。これまでにない魅力を街なかに如何に作り出すか、くろしおアートやアニメといったものと合わせ、少しずつ目に見える形になってきており、さらに個店への波及に結び付けるための、継続的な仕組みづくりと機運の醸成が課題となっている。訪日外国人への対応や衛生管理等、将来を見据えた取組を進めていく必要がある。</p>        |
| 今後の方向性  | <p>今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)</p>  |
| 拡大・充実   | <p>人口減少等によって島内経済が縮小する中、島外からの観光客等を地元消費へと波及させられるかが、大きなカギとなっており、島内入込客数の増加基調から少しずつ明るい兆しが見えつつある観光施策との連動は、必須と考えている。特に、訪日外国人を意識した取組や魅力発信は必要である。従って、各施策内の事業との連動を意識しながら、観光・商工の両面で効果が大きくなるような展開を目指したい。また、ふるさと納税の推進についても、返礼品として、地元特産品の取扱いを増やすなど、商工業の振興に結び付けたい。</p>  |

施策マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の実行へ～

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

| 今後の方向性            | 政策部会が出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)                                   |
|-------------------|---|
| <b>拡大・充<br/>実</b> | ○ 商工会からは、プレミアム商品券の発行が求められていることから、例えば観光客向けにプレミアム商品券の発行や、キビ等振興のために発行するなどの方法を検討してはどうか。 |